報道関係各位

2021 年 3 月 12 日
日本映画放送株式会社
株式会社 NTT ぷらら
スカパーＪＳＡＴ株式会社

主演２名 決定!!

新たな「梅安」 豊川悦司
新たな「鬼平」 松本幸四郎

仕掛人・藤枝梅安
映画２作品
製作決定

鬼平犯科帳
映画化＆連続シリーズ
製作決定

「時代劇専門チャンネル」を運営する日本映画放送株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 杉田成道）、株式会社 NTT ぷらら（本社：東京都豊島区、代表取締役社長 永田勝美）、スカパーＪＳＡＴ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長 米倉英一）は 3 月 12 日、池波正太郎原作『鬼平犯科帳』『仕掛人・藤枝梅安』の新作映画製作発表記者会見を開き、２作品でそれぞれ主演を務める俳優２名を発表いたしました。

新たな『仕掛人・藤枝梅安』の主人公・藤枝梅安を演じるのは、**豊川悦司**。抜群の演技力で、ある時はクールに、またある時には情熱的に多種多彩な人物を演じ分ける名優が、表の顔は腕利きの鍼医師、裏の顔は仕掛人（殺し屋）というダークヒーロー・梅安に挑みます。

そして新たな『鬼平犯科帳』の主人公である火付盗賊改方長官・長谷川平蔵を演じるのは、**松本幸四郎**。祖父の初代松本白鸚が初代・長谷川平蔵を演じてからおよそ半世紀。当代を代表する歌舞伎俳優が、江戸の街にはびこる悪を、時に厳しく、時に情けとともに取り締まる「鬼の平蔵」という“名跡”を継ぐことになりました。

新たな「梅安」は映画２作品、新たな「鬼平」は劇場版と連続シリーズを製作し、ともに今後、撮影・上映予定。原作者・池波正太郎の生誕 100 年に当たる 2023 年に向けて、プロジェクトを進めて参ります。続報にご期待ください。

報道関係各位

2021 年 3 月 12 日
日本映画放送株式会社
株式会社 NTT ぷらら
スカパーＪＳＡＴ株式会社

仕掛人・藤枝梅安　主演　豊川悦司

今回、「藤枝梅安」という、とてもとても大きなキャラクターを、池波正太郎先生からお借りすることになりました。子供の頃、緒形拳さんが演じられていた「梅安」が憧れのヒーローでしたので、まさか自分がやることになるとは思っていませんでした。正直、迷う部分もありましたが、チャレンジしがいのある仕事を、映画の神様がくれたのだなと思います。子供たちが見て、「怖いけれど格好いい」と思ってもらえるようなダークヒーローとしての梅安像を、河毛俊作監督とともに作っていきたいと思っています。

豊川悦司（とよかわ・えつし）　1990 年、北野武監督の映画「3-4 x10 月」に出演し沖縄のヤクザ組長役で注目される。’91 年「12 人の優しい日本人」、’92 年「きらきらひかる」「課長島耕作」、’94 年「undo」、’95 年「Love Letter」、’96 年「八つ墓村」と映画に出演。テレビでは’92～’93 年「NIGHT HEAD」（’94 年映画に）、’94 年「この世の果て」「この愛に生きて」（いずれもフジテレビ系）と続き、’95 年「愛していると言ってくれ」（TBS 系）、’97 年「青い鳥」（TBS 系）と主演ドラマが大ヒットし、人気、実力ともに日本を代表する俳優に。近年の映画主演作に「愛の流刑地」「今度は愛妻家」「必死剣鳥刺し」「一枚のハガキ」「後妻業の女」「パラダイス・ネクスト」。2020 年公開映画に「ラストレター」、またハリウッド映画「MIDWAY」では連合艦隊司令長官・山本五十六を演じ好評を博した。’21 年には「いとみち」「子供はわかってあげない」「鳩の撃退法」の 3 作品が全国公開予定。

鬼平犯科帳　主演　松本幸四郎

『鬼平犯科帳』は池波正太郎先生の傑作であり、祖父（初代松本白鸚）、（萬屋）錦之介のおじさま、叔父（中村吉右衛門）と自分の近い存在が演じておりました作品ですので、今回のお話をいただいたときは喜び以上に驚き、鳥肌の立つ思いでした。そして今、すこぶる興奮しています。5 代目の「鬼平」を務めさせていただく幸せとともに、進化した「鬼平」を目指したいと思っております。池波先生が描かれた『鬼平犯科帳』の江戸を、時代劇の職人芸でお見せ致します。根拠はありませんが、自信はあります。どうぞご期待ください。

松本幸四郎（まつもと・こうしろう）　1973 年、東京都出身。二代目松本白鸚の長男。’78 年、父が主演した NHK 大河ドラマ『黄金の日日』に子役で出演。翌年 3 月に歌舞伎座『侠客春雨傘』で三代目松本金太郎を襲名して初舞台。’81 年 10 月に七代目市川染五郎を襲名。古典から復活狂言、新作歌舞伎にまで取り組み、二枚目から実悪、色悪、女方まで務める。また、劇団や演劇の舞台など歌舞伎以外でも幅広く活動し、テレビ・映画の作品にも多数出演。2001 年には重要無形文化財（総合認定）に認定され、’05 年には映画「阿修羅城の瞳」「蟬しぐれ」で日本アカデミー賞優秀主演男優賞、報知映画賞最優秀主演男優賞、日刊スポーツ映画大賞主演男優賞を受賞。’18 年に十代目松本幸四郎を襲名。映画・ドラマの主な出演作は映画「ラヂオの時間」「天地明察」、主演ドラマ「陰陽師」（テレビ朝日系）、「竜馬がゆく」（テレビ東京系）のほか、大河ドラマ「八重の桜」（NHK）、「古畑任三郎／若旦那の犯罪」「鬼平犯科帳スペシャル　引き込み女」「鬼平犯科帳スペシャル　盗賊婚礼」（いずれもフジテレビ系）など多数。

報道関係各位

2021 年 3 月 12 日
日本映画放送株式会社
株式会社 NTT ぷらら
スカパー ＪＳＡＴ株式会社

➢ 池波正太郎 生誕100年に向けて 新映像化プロジェクト始動!

2023 年に生誕 100 年を迎える時代小説家・池波正太郎。『鬼平犯科帳』『仕掛人・藤枝梅安』は、『剣客商売』と並んで池波の“三大シリーズ”に数えられる傑作長篇で、ともに時代小説の金字塔として、長年にわたって多くの読者に支持されてきました。今回、その新たな映像化プロジェクトが、株式会社オフィス池波のご支援の元、始動します。

『仕掛人・藤枝梅安』は、江戸の闇世界をテーマに、人の命を救う「鍼医」と、殺しを請け負う「仕掛人」という二つの顔を持つ藤枝梅安の活躍を描いたハードボイルド作品。今回の映像化では、ドラマ・映画等で数々の話題作を生み出してきた河毛俊作監督と、脚本家・大森寿美男が、時代劇専門チャンネルオリジナル時代劇「雨の首ふり坂」（2018 年）に続いてタッグを組み、新たな梅安像を紡ぎ出します。

そして『鬼平犯科帳』は、「鬼の平蔵」こと火付盗賊改方長官・長谷川平蔵を主人公に据えた文庫累計発行部数 3000 万部に迫る大ベストセラーであり、過去４代にわたって映像化されてきた時代劇の決定版です。令和の時代を迎えた今回、劇場版を杉田成道、連続シリーズを山下智彦という時代劇演出の名手が担当。脚本家・大森寿美男とともに、次代に向けた新たな鬼平に、挑みます。

仕掛人・藤枝梅安

映画２作品 製作決定

2022 年　撮影予定
2023 年　２月・５月　２作品公開予定

主演：豊川悦司
監督：河毛俊作
脚本：大森寿美男
企画・プロデュース：宮川朋之
原作：池波正太郎『仕掛人・藤枝梅安』（講談社文庫刊）

鬼平犯科帳

映画化＆連続シリーズ 製作決定

2023 年　撮影開始予定
2024 年 5 月　劇場公開・連続シリーズ同時配信予定

主演：松本幸四郎
劇場版監督：杉田成道
連続シリーズ演出：山下智彦
脚本：大森寿美男
企画・プロデュース：宮川朋之
原作：池波正太郎『鬼平犯科帳』（文春文庫刊）

▼ 池波正太郎原作『鬼平犯科帳』『仕掛人・藤枝梅安』映画化決定ティザーページ：www.jidaigeki.com/onihei-baian/

➢ 原作　池波正太郎　いけなみ・しょうたろう

時代小説家、劇作家。1923 年生まれ、東京都出身。戦後、都の職員を務める傍ら、劇作家としても活動していたが、やがて小説の執筆も始め、大衆雑誌で作品を発表。初期には現代物の作品が多かったが、直木賞候補にも上った『恩田木工（後に『真田騒動』と改題）』からは、時代小説が執筆活動の中心に。’60 年『錯乱』で第 43 回直木賞を受賞。以降、『鬼平犯科帳』『剣客商売』『仕掛人・藤枝梅安』の３大シリーズ、長篇『真田太平記』などを世に送り出して人気を博す一方、食通・映画評論家としても著名であった。’77 年、その精力的な作家活動が評価され吉川英治文学賞を受賞。’88 年、菊池寛賞を受賞。’90 年、急性白血病により永眠。連載中の『仕掛人・藤枝梅安　梅安冬時雨』と『鬼平犯科帳　誘拐』は同年４月号分で未完となった。